



生ごみを減らしてごみ減量！

平成22年度に実施した調査によると、牛久市の家庭から出る「燃えるごみ」のうち、約40%が生ごみで、最も高い割合でした。毎日出る生ごみを減らすことは、ごみ減量への近道です。そこで今回は、手軽にできる生ごみの減らし方をご紹介します。

◆生ごみを減らすポイント

①しつかり水を切りましょう

生ごみには多くの水分が含まれているため、これを乾かすだけでもごみの量を減らすことができます。

●三角コーナーなど生ごみの入れ物を流しから上げる。

●生ごみを水のかからないところに置く。

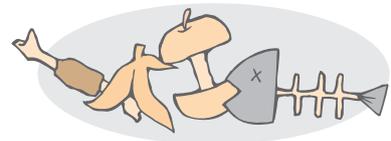
●野菜や果物の皮をむく前に水気をふき取る。

②不要な食材を買わないようにしましょう

特売などで、ついつい余分に食材を買ってしまい、結局食べきれずに捨ててしまった…という経験はありませんか？食材に限らず、ものを買うときに「本当に必要か」を見極めて買うことは、無駄なごみだけでなく無駄な出費も減らせます。

③生ごみ処理容器を活用しましょう

生ごみ処理容器を使うことにより、生ごみを減らすことができます。市では生ごみ処理容器の購入に対して補助金制度を設けています。詳しくは廃棄物対策課までお問い合わせください。



問 廃棄物対策課 ☎内線157111573

ごみの分別にご協力ください

ごみの分別は、資源になるものを活かす意味でも大切です。なお、自治体によって分別方法は異なります。牛久市では「資源物・ごみの出し方」というリーフレットを配布していますので、ぜひご利用ください。また分別に迷ったときは、お気軽に廃棄物対策課までお問い合わせください。

「牛久のわん・にゃんこ」



問 環境政策課 ☎内線1563

青島家(刈谷町4丁目) “みゆきちゃん” (マルチーズ / メス / 6歳)

私、みゆき。推定6歳です。去年の4月、いきものねっとのお世話で、お父さんの運動不足解消と元気になってもらうため、茨城県動物指導センターからこの家に来ました。お母さんは私に一目惚れでメロメロなんです。お仕事頑張ります！

※あなたとワンちゃん・ネコちゃんのエピソードを聞かせてください！

※掲載希望の方は、環境政策課か下記宛先まで、住所、氏名、電話番号に写真とエピソード(100文字程度)を添えて郵送または、Eメール(kankyoku@city.ushiku.ibaraki.jp)でお送りください。

【応募先】 〒300-1292牛久市中央3-15-1 牛久市役所環境政策課
「牛久のわん・にゃんこ係」

ドッグラン市民無料開放日

6月8日(日)・11日(水)・25日(水)

問 ツインギー・アンド・パラダイス(猪子町832-5)
☎886-6616

※この事業は、ツインギー・アンド・パラダイスのご厚意により、無償で行っています。

※利用条件…①飼い犬の登録および狂犬病予防注射の接種。

②混合ワクチンの接種(接種済証明書またはコピーを持参してください)など。

※施設利用の初回には、施設の利用基準に従った審査(しつけ・気性)を受けてください。

お散歩や遠出をするには気持ちのいい季節がきました。犬の飼い主さんはフィラリア症予防を始めましたか？フィラリア症は蚊が媒介動物となり、病気の原因となる犬糸状虫を伝播し感染します。蚊は15℃を越えると吸血活動を行いますから、秋～冬、涼しくなっても油断はできません。12月までしっかり投薬を続けましょう。また、間もなく猛暑の季節を迎えます。家族として共に生活する動物の熱中症には十分気をつけてあげてください。